

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【公表番号】特表2008-533919(P2008-533919A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-501981(P2008-501981)

【国際特許分類】

H 04 W 84/12 (2009.01)

H 04 B 7/10 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/28 3 0 0 Z

H 04 B 7/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月8日(2008.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の処理要素(110-1~110-N、200)と、1つまたは複数の再構成可能な無線相互接続(120-1~120-M、320、322、324)とを含み、各処理要素(110-1~110-N、200)は、少なくとも1つの別の処理要素(110-1~110-N、200)と1つまたは複数の再構成可能な無線相互接続(120-1~120-M、320、322、324)を介して通信するために適合され、

前記複数の処理要素(110-1~110-N、200)の各処理要素は、

1つまたは複数のマイクロアンテナ(230、430-1~430-N)と、

処理要素データ出力を表す1つまたは複数のRF信号を送信し、さらに第1のデータリンクプロトコルに基づいて前記処理要素データ出力を変調するように適合されている1つまたは複数の無線送信モジュール(210、410-1~410-N)と、

処理要素データ入力を表す1つまたは複数のRF信号を受信し、さらに第2のデータリンクプロトコルに基づいて処理要素データ入力を復調するように適合されている1つまたは複数の無線受信モジュール(220)と、をさらに含む、

再構成可能なコンピュータ処理システム(100)。

【請求項2】

前記複数の処理要素(110-1~110-N、200)の各処理要素は、

少なくとも2つのマイクロアンテナ(230、430-1~430-N)と、

前記少なくとも2つのマイクロアンテナ(230、430-1~430-N)を介して送信するように結合され、各無線送信モジュールが、処理要素データ出力を表すRF信号を送信するように適合され、前記処理要素がさらに、前記少なくとも2つのマイクロアンテナ(230、430-1~430-N)により送信される前記RF信号の方向を制御するように適合されている、少なくとも2つの無線送信モジュール(210、410-1から410-N)とを含む、

請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

少なくとも1つの処理要素(200)同士で1つまたは複数の再構成可能な無線相互接

続（120-1～120-M、320、322、324）を介して通信するように適合され、

1つまたは複数のマイクロアンテナ（230、430-1～430-N）と、

処理要素データ出力を表す1つまたは複数のRF信号を送信するように適合され、第1のデータリンクプロトコルに基づいて前記処理要素データ出力を変調するように適合される1つまたは複数の無線送信モジュール（210、410-1～410-N）と、

処理要素データ入力を表す1つまたは複数のRF信号を受信するように適合され、第2のデータリンクプロトコルに基づいて前記処理要素データ入力を変調するように適合される1つまたは複数の無線受信モジュール（220）と、を含む、
処理要素（200）。